

伊豆の温泉・観光地で忘年会
忘年山行（宇佐美／ナコウ山）

実施日 2015年12月12日(土)～13日(日)

天候 雨

リーダー 一柳 昭

参加者 (若村貴世子)、齋恵美子、若村勝昭、一柳昭、涌井良明、山崎富美恵、(白石恵美子)、小村井好枝、(荻野智恵子)、石附智江、渋谷賢寿、渋谷京子、中村友子、伊藤久雄、石原勝正、宇野輝代、岩崎陽子、徳山敬子、天野拓郎、石附恵理子、(宮崎敏男) 計21名
12/13 1班17名 (2班4名)

費用 東京⇄宇佐美(往復)3,888円
宿泊14,000円 合計17,888円

タイム 12/12 宇佐美駅(14:50~14:55)大刻印石(15:00~15:05)中村敬字碑(15:10~15:13)城山(15:23~15:30)民宿ふかべ(15:40)
12/13 民宿ふかべ(9:00)比波預天神社(9:06~9:10)砂防ダム(9:27~9:30)宇佐美江戸城石丁場遺跡の碑(9:35~9:40)田の刻印石(10:07~10:12)ナコウ山(10:22~10:40)白波台分岐(11:02)留田分岐(11:38)展望台(12:02)離山(12:06)石切場(12:11~12:20)離山登山口(13:37)宇佐美駅(13:20~13:49)

12/12 宇佐美駅で集合の後、街中にある「刻印石」を見る。これは江戸城石垣修築工事のため各大名に命令し伊豆東海岸を中心に採石したもので各大名の所有を表



すために刻印を付けています。この後は「中村敬字碑」を経て城山へ。城山は宇佐美城があった所で標

高は約20㍍であったという間にも登った。山頂は広く東西80㍍、南北60㍍で現在は土塁の残欠と空堀の一部が残るのみでした。



登った道に戻り今夜宿泊する民宿ふかべに着きました。

◇忘年会の部(18:00~20:00)



忘年会までの時間は風呂に入ったり、軽く一杯やっていたが役員達は準備で大忙し。忘

年会は涌井会長の挨拶・乾杯の音頭で始まった。美味しい料理をいただきお腹が一杯になったところで恒例のビンゴゲームが始まった。涌井さん特製のカードを参加者に一枚ずつ引いてもらい、ビンゴが出るたびに盛り上がりました。最後に順番に当たった景品を披露してもらい、その度に盛り上がりました。二次会は男性の部屋で始まり、これもまた盛り上がりましたが翌日の山行を考慮して早めにお開きとなりました。

◇12/13(日) 1班 17名

今日是一日、小雨との予報なので雨具を着用して出発しました。

最初に宇佐美で最古の「比波預



天神社」に参拝し、車道を上って行き砂防ダムを越えると「宇佐美江戸城石丁場遺跡」に着きました。



ここから登山道に入ります。右手には巡回コースがありますが、正面の道を進み谷間を登って行きます。

途中には石工たちの小屋があったと思われる跡や切り出しの途中で放置された石が沢山見かけます。きつい九十九折りを登り切ると十字路になっている田の刻印石に着く。



真っ直ぐ行っても、左方向に尾根を降りても旧街道に出る。我々は右に曲り

緩やかな道をナカコ山に向かう。ナコウ山直下は羽柴筑前守（細川忠興）の石場だつた所で、天気がよければ展望が良いが今日はイマイチでした。



休憩を取った後、急傾斜の道を登るとナコウ山ですが、いつもは見える富士山も残念ながら

見えませんでした。先ほどの鞍部に戻り、その先に続く尾根へと登って行きます。このコースはあまり標識がなく、また踏み跡があちこちに付いているので下見にきた時は多少迷ったが赤テープを付けて

おいたので今回はスムーズに歩けた。白波台分岐で左に登って行くと緩やかな高みに出るがこ



のあたりが321m峰と思われます。緩やかな尾根道を降って行くが細木や草が多く夏草の生い茂る季節はとても歩けそうもありませんので冬場で大正解です。

「離山方面急坂下り注意」の看板を過ぎると急坂が始まりました。右側に張られ



たロープを捕まりながら降りますが雨で滑り易く難儀しながら約10分で終わりになりました。

留田分岐を過ぎ離山方面に登ります。

僅かに起伏のある尾根道を進むと竹林が続きその中を登り展望台を経て離山へ。離山は雑木



林と竹林に囲まれているがどこが山頂が不明瞭なのでここで引き返し石切場で休息を取りました。ここも保存状態の良い



多くの刻印石があります。この先は不明瞭な所がありますが下見の際に確認してあったので問

題はありません。研修センターやペンションのある車道に出て留田港、留田浜辺公園、宇佐美海水浴場を経て宇佐美駅で解散しました。

2班 4名 自由行動

(記・一柳 昭)

(写真提供・涌井良明/伊藤久雄/石原勝正)

